

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久地域を支える地域防災力の向上事業
事業主体 (連絡先)	長野LP協会佐久支部 (佐久市跡部65-1 佐久地方事務所内 電話0267-63-3450)
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,070,426円 (うち支援金770,000円)

事業内容

佐久総合病院の『病院祭』、佐久市・佐久商工会議所主催の『ぞっこん! さく市』において次の事業を実施

- 災害時に活用できる料理レシピ本を活用しての炊き出し訓練の実演及びレシピ本の配布

各自治体に寄贈した炊き出しセットを活用し、災害時に迅速に炊き出しがおこなえるように、医療関係者、地域住民、赤十字奉仕団に炊き出しセットの組み立て方法並びにLPガスを安全に使用するための指導後、炊き出し実演を「災害時に活用できる料理レシピ本」を使って長野県調理師会佐久平支部と連携しておこなった。また、同時に来場者へレシピ本の配布をおこなった。

- LPガス移動電源車を活用した災害時救護活動への提案 (長野県下初)

①携帯電話への充電実演

大規模災害の際には、通信インフラが混乱する中で、被災者等の安否確認のための「緊急携帯電話ステーション」の実演を行う。この実演に使用する災害対応モバイルチャージャーは一度に16台同時充電が可能。(携帯電話各社に対応のほかPHS、スマートフォン、タブレット端末でも利用可能 エア・ウォーター(※提供))

②LPガス移動電源車による医療機器への電源供給

被災地における屋外での救護活動に使用する医療機器への電源供給のデモンストレーションをおこなった。医療関係者への災害対応機器の提案は県下初の試みである。



【炊き出しセットを活用しての炊き出し訓練の実演】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①医療機関並びに市・商工会議所及び地域住民にLPガスを活用して、災害支援の体験をしてもらうことにより、LPガスが災害時に有用なエネルギーであることが実践できた。
- ②日赤奉仕団及び地域住民と連携してLPガスを使用して炊き出しを実施できたことは、災害時に避難所において迅速に温かい食べ物が提供できる協力体制が構築できた。
- ③災害時に活用できる料理レシピ本を使用しての炊き出し実演を長野県調理師会佐久平支部と連携して指導することにより災害時での連携を強化できた。

【目標・ねらい】

- ①『病院祭』、『さく市』を通じて医療機関並びに市・商工会議所及び地域住民と連携した地域防災力の向上をはかる
- ②災害時に活用できる料理レシピ本を活用し、日赤奉仕団・地域住民と炊き出しをおこない災害時に役立てる
- ③長野県調理師会佐久平支部と連携し防災意識を高める
- ④LPガス関連機器の災害時における新しい使い方の提案等をおこない災害時に役立てもらう

(別記様式第12号) (第3の8関係)

④災害時に活用できる料理レシピ本を関係機関及び地域住民に配布

病院祭 1,000冊配布
ぞっこん! さく市 1,750冊配布

⑤LPガス関連機器が災害時に救護活動及び避難所等で有効に活用できることを周知できた。

※自己評価【A】

【理由】

医療機関並びに市・商工会議所及び日赤奉仕団、地域住民と連携した災害支援を実演できたことは、『地域防災力の向上』をはかることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度は、医療機関並びに市・商工会議所及び地域住民ならびに関係団体と連携した事業が実施できた。当会で事業に対する反省及び今後この事業をどう進展させていくかなどを企画会議に諮ったところ、今後は災害時におけるLPガスの利便性、活用方法や当会の取り組みについて、より効果的に広域に周知する。

また、消防署及び地域消防団と連携した取り組みをおこなうことにより、災害時に協力して即応できる体制の確立に向けて連携強化をはかりたいと考えている。その取り組みのひとつとして、今年度消防署で開催されるイベントに参加し、災害時に備え避難所での炊き出し、LPガスの災害対応機器の使用方法を消防署職員及び地域消防団並びに地域住民に習得してもらい、迅速に連携できる体制を構築したいと考えている。またその際は、積極的に災害支援に有効なエネルギーであることを発信し、地域の防災力向上をはかっていきたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある